

令和7年度認知症高齢者の搜索模擬訓練 活動報告

日時：令和7年9月27日（土）9時30分～12時30分 会場：東向陽台公民館

1. 開会

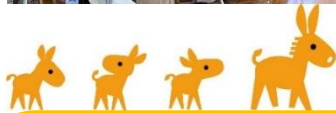
富谷市で2回目となる認知症高齢者の搜索模擬訓練を開催し、約30名の方にご参加いただきました。



（挨拶：富谷市長 若生 裕俊）

2. 講話

認知症キャラバンメイトの本間 照雄氏・大和警察署 相澤氏を講師としてお招きし、認知症の基礎知識や接し方、地域での見守りの大切さ、通報方法などについてご講話いただきました。



<認知症の方の家族としてできること>

警察の方の講話で、行方不明者を搜索する際、その方を特定する材料として写真が有効であることを学びました。

お誕生日の時など、年に1回でもお写真を残しておくことで、万が一の際に、役立ちます。

3. 搜索訓練

いよいよ搜索訓練スタート！

公民館の内外で
困っている認知症の方
(モデル役)を発見!



どう対応したら
よいだろう??



この方は、家までの帰り道が分からなくなってしまった様です。

名前は言えましたが住所は言えません。

「仕事に行く。家族へは怒られるから連絡をしないでくれ」と話しています。見守りシールを付けていたので、読み取りを行い無事に家族と連絡が取れました。

相手に不安感を与えないために、一人で声をかける目線を合わせるなど、講話で学んだことを活かして、みなさん対応されていました。

街で道に迷っている方と出会ったら、警察(110番)や市役所、包括支援センターなどの公的機関へ連絡することで、速やかな保護につながります。

☆みまもりシールについて

富谷市では認知症等で見守りが必要な方に衣類に貼るQRコードをお渡ししています。読み込むことで、発見者と家族がネット上で個人情報を介することなくやりとりができ、迅速な保護につながります。



←みまもりシール
QRコードが読み取れない場合は識別番号のお伝えを！



4. 警察ブース



警察の方にご協力いただき、警察への通報を体験しました。

発見した場所や時間、本人の服装や年代など、実際の通報と同様の質問をされ、「思ったよりも聞かれることが多くてドキドキした」といった声も聞かれました。早めの通報が迅速な保護につながるため、全ての情報が分からなくても通報し分かる範囲で伝えることが重要だと学びました。



5. グループワーク（振り返り）

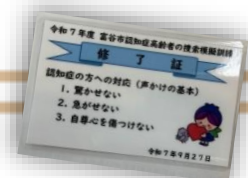
各グループごとに、訓練の振り返りを行いました。

「声をかけることに勇気が必要だった」「これからは困っている人がいないか、気にしながら街を歩きたい」「みまもりシールをもっと知ってもらいたい」等、実際に訓練を経験して感じたことを全体発表で共有しました。

モデル役の方からは「普通に声をかけてほしい」「急に声を掛けられると不安を感じるため、声のかけ方は大事」といった感想が聞かれました。グループワークを行ったことで、「地域での見守りの大切さ」をより認識することができました。



6. 修了証の交付



訓練全体の講評を講師の先生方にいただき、最後に修了証の授与を行いました。



みなさまのご参加
ありがとうございました

